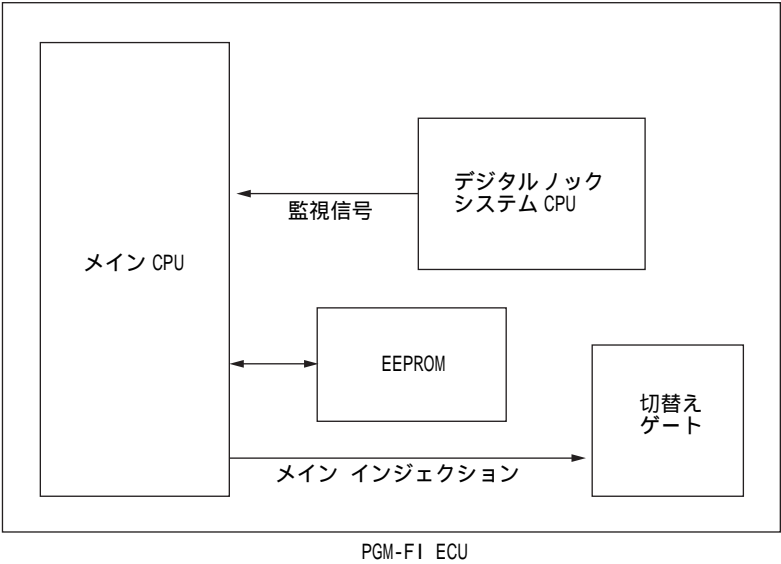


DTC 解説

DTC P0606: ECU 内部回路異常 (PGM-FI ECU)

検知原理解説



01_P0606G_TM8A00

PGM-FI ECU 内部に何らかの異常が発生し、デジタル ノック システム CPU からの監視信号がない状態で設定時間以上継続した場合、または通信異常が設定時間以上継続した場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	5 秒間以上
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリー電圧 [バッテリー電圧] (PGM-FI ECU の IGP 端子)	10.0V	
エンジンの状態	作動中	
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0335、P0339、P0365、P0369	
その他	エンジン始動後 30 秒間経過後、またはエンジン回転数 [エンジン回転] が一度 1,000rpm を超えた後	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

次のいずれかの状態で 5 秒間以上継続した場合。

- ・ デジタル ノック システム CPU からの信号がない場合。
- ・ デジタル ノック システム CPU からの信号が異常な場合。

推定故障部位

- ・ デジタル ノック システム CPU の故障
- ・ デジタル ノック システム CPU とメイン CPU 間の通信異常

DTC 解説

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

エンジンを始動し、アイドリングの状態を 30 秒間以上続ける、もしくはエンジン回転数 [エンジン回転] を一度 1,000rpm 以上にする。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。